

## 第1回文京区都市マスタープラン見直し検討協議会 議事録(要旨)

- 1 日 時 令和4年7月19日(火) 18時30分から20時20分まで
- 2 場 所 文京区シビックセンター24階 区議会第1委員会室
- 3 出席者 成澤区長

【委員】21名(うち書面出席者1名)

村木会長(学識経験者)

谷口副会長(学識経験者)

加藤委員(学識経験者)

西浦委員(学識経験者) ※書面出席

村山委員(学識経験者)

綾井委員(区民(団体推薦))

新井委員(区民(団体推薦))

小能委員(区民(団体推薦))

杉田委員(区民(団体推薦))

吉岡委員(区民(団体推薦))

一針委員(区民(公募))

鈴木委員(区民(公募))

高橋委員(区民(公募))

福富委員(区民(公募))

福本委員(区民(公募))

大川委員(区職員)

竹田委員(区職員)

高橋委員(区職員)

澤井委員(区職員)

吉田委員(区職員)

鵜沼委員(区職員)

【事務局】

文京区都市計画部都市計画課 下笠課長

文京区都市計画部地域整備課 前田課長

文京区都市計画部住環境課 有坂課長

文京区都市計画部建築指導課 川西課長  
文京区土木部管理課 佐久間課長  
株式会社首都圏総合計画研究所

【傍聴者】 4名

#### 4 次 第

- (1) 開会
- (2) 委員委嘱
- (3) 区長挨拶
- (4) 委員紹介
- (5) 会長選出及び副会長指名
- (6) 会長挨拶
- (7) 議題 「協議会の運営等について」  
「都市マスタープランの見直しについて」
  - ・見直しの基本的な考え方、検討体制、スケジュール等について
  - ・見直しにあたっての視点について
- (8) その他
- (9) 閉会

#### 5 区長挨拶

皆さん、こんばんは。区長の成澤です。ただ今第1回文京区都市マスタープラン見直し検討協議会の開会にあたりまして、委員の皆さま方に委嘱をさせていただきました。これから約2年間の間ですけれども、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。現行の都市マスタープランですが2011年に改定をしまして、目標年次である2030年までですので、おおむね中間の時期を迎えています。

本区の人口動態ですが、平成元年に16万5,000人、文京区で一番人口が底になって以来、選ばれる自治体として徐々に今人口を増やしていきまして、このコロナ禍にありまして、一時的に留学生が本国に帰り、文京区から郊外に引っ越される方が出ましたが、現在ではウィズコロナと申しまししょうか、再び都心回帰の動きがあるようで、現在22万8,000人という人口になり、引き続き人口増が続いている状況です。

区を取り巻く社会状況は大きく変化していきまして、災害に強いまちづくり、また環境に配慮した持続可能性の高いまちづくりなど、都市に求められる機能も高度化、多様化して

きていると認識しています。特に大学周辺でも AI の集積が見られ、我々が元々想像していなかったような新たな動き等も出てきていまして、都市マスの中でもご議論を頂かなければならない。そういった環境の変化に対応できているのか、検証をしていただいで見直しの検討をお願いしたいと考えているところです。

本区のまちづくりを進めるための指針となるべきものが都市マスタープランですので、委員の皆さま方におかれましては、ぜひ活発なご議論を頂きまして実りの多い見直しになりますようにお力をお貸しいただければと考えております。どうぞよろしく申し上げます。

## 6 会長選出及び副会長指名

本協議会設置要綱第 5 条第 2 項により、学識経験者の委員のうちから委員の互選により、村木委員が会長に選出された。

また、副会長については、本協議会設置要綱第 5 条第 4 項により、村木会長より谷口委員を副会長に指名した。

## 7 会長挨拶

皆さん、こんばんは。千葉大学の村木と申します。どうぞよろしく申し上げます。私は 1992 年の都市計画法改正で都市計画マスタープランができてから、どういうふうに都市計画のマスタープランを日本で作っていけばいいのか、それが私のちょうど博士課程の論文でした。それ以来ずっと都市計画マスタープランに関わる事が多く、今多くの行政体で都市マスの改定等をやっていますが、23 区中 6 区で、6 つ目の計画に関係することになったのですが、いろいろ最近思うこともあり、都市計画のマスタープランと総合計画との違い、都市計画は一体何をやるのか。書けることと書けないことがあるというのが、最近の都市計画マスタープランの改定で思うところです。したがって、こちらで初めてこのような形で都市計画マスタープランに関わることになりましたが、どのような計画を作っていくのが文京区にとっていいのか。その様なことも含めて、使える都市計画マスタープランを皆さんと一緒に考えていくことができればと思っています。どうぞ活発な議論ができると思いますので、よろしく申し上げます。

## 8 議 事

### (1) 議題「協議会の運営等について」

- ・事務局より資料 1 ～ 2 の説明

意見等なし。説明協議会の運営等について、承認された。

(2) 議題「都市マスタープランの見直しについて」

・事務局より資料3～7の説明

○**村木会長** 議論に入る前に只今の説明で質問があればお願いしたい。

○**新井委員** 来訪者アンケートをどの様な基準で行ったのかももう少し詳しくお聞きしたい。

○**下笠事務局** 調査事業者にすでに登録している方の中で、最近3年間で文京区に3回以上訪れている方にアンケートを答えていただいた。

○**新井委員** 調査事業者とは今回アンケートをお願いした会社という意味であるのか。

○**下笠事務局** 見直しの支援をしている首都圏総合計画研究所にお願いしている。

○**新井委員** 登録している方は報酬をもらっているのか。

○**下笠事務局** 報酬をもらっているかは分からないが、日頃からアンケート回答の募集をしていると考えられる。今回は、調査事業者の登録者にアンケートを依頼し、答えていただいた。

○**新井委員** 今回行った調査と同じ様なことを他の区でも行っているのか。

○**下笠事務局** 他の区では来訪者のアンケートはあまり行っていないと思われる。区民の意識調査のみを行う予定であったが、今回は幅広く来訪者等にもアンケートを行った。

○**村木会長** 本日欠席している西浦委員より意見をいただいております、議論に入る前に事務局はその意見を代読してほしい。

○**下笠事務局** 西浦委員より事前に意見をいただいている。まず、資料3について、隣接する区の計画との調整が必要ではないか。隣接する区との境界では相互に影響が大きいと思われる。東京都の区域マスタープランに整合していれば結果的に整合しているという理屈も成り立つが、現実的、現場的にはそれは機能しない。隣接する6区との調整即ち、水平的に調整することを記載してはどうか。

この件について、区の見解としては、ご指摘の通り、都市計画道路、建築物の不燃化耐震化等、隣接区との調整が必要になることもあると考えられる。記載を検討したい。

資料4について、災害、地球温暖化、高齢化等の取り巻く課題に対して、如何にして効率的に強靱な社会資本を整備していくかが根本的な課題と考えられる。それらをグリーンインフラ計画としてまとめてはどうか。多様な機能を持っている公園緑地、水害に対する河川管理、歩行者環境整備等多くの内容がグリーンインフラ計画としてまとめられるのではないかと。

道路整備等もこの中に入れ込むことも可能であろう。

この件について、区の見解としては、ご指摘のグリーンインフラ計画を策定するか否かは別途検討となるが、都市マスタープランの見直しで重要な視点となることは認識している。

資料5-1について、分析の通り、区民は歩行空間、防災に関する項目の関心が高いことが分かる。都市騒音に関する意見はないのか。

この件について、区の回答であるが、車の音、工事の音に関する意見はあった。

資料6について、上記した通り、私が掲げる見直しの視点は、グリーンインフラ計画と隣接自治体計画との調整である。緑と水の項目にグリーンインフラの構築との記載があるが、格上げして全ての分野を横断するコンセプトにしてはどうか。

この件について、区の見解としては、グリーンインフラを全ての分野を横断するコンセプトとする件は今後検討したい。

その他の意見に関して、主要施設へのアクセス性等をGISで分析してみてはどうか。年齢階層、性別等別での分析が興味深いと思われる。

この件について、区の見解としては、ご指摘の通りであり、今後、様々な視点から分析を検討したい。

**○村木会長** 参考になる点が多いと思い、先に読んでいただいた。西浦委員の意見や委員の方がご自身で思われていること等を資料7にある本日の論点に沿って進めていくとよいと思う。まず、都市マスタープランの見直しの方向性について何か意見はあるか。

**○福富委員** 一体的な流れとしてここで決めた計画を区民に投げかけるのではなく、区民との対話の中で個々の内容を詰めていく必要がある。オープンハウス等も含めて検討はしているようであるが、地域で熱心にまちづくりの取組みをしている方の意見等、地域別の方針等に入れた方がよい。今回の都市マスタープランの見直しを区民が自分事としてまちづくりを考える機運づくりにつながるとよい。

**○村木会長** 都市マスタープランをどの様に使うのかを含めて検討する必要があるが、今の意見を踏まえ、都市マスタープランの中に入れるのか、他の計画とするのかを含めて検討していく必要があるかもしれない。

**○谷口副会長** 先ほどの福富委員の意見とも関係するが、アンケートも区民との対話の一部だと思われるが、資料5-1と5-2のアンケートの結果が見直しにどの様に生かされているかが説明を聞いていて分からなかった。

**○下笠事務局** 参考資料1は資料5-1、資料5-2の全体版となっており、51ページから53ページで満足度と期待度にそれぞれ点数を付け、クロス集計をしている。こういった結果を

見直しに反映していきたいと考えている。

**○谷口副会長** 参考資料1はこれでよいが、その情報が補足資料2等それ以外の資料に反映されているのかをお聞きしたい。

**○下笠事務局** 補足資料2等には今のところ反映していない。第2回で示すまちづくり白書に反映していこうと考えている。

**○谷口副会長** アンケートの結果が浮いてしまっているように感じる。この後時間があれば、細かい点も指摘したい。

**○村木会長** 今の谷口委員の指摘は、都市マスタープランをどの様に分冊していくかということにも関係する。まちづくり白書を作成した後、都市マスタープランを作成するという流れは千代田区等と同じであるが、文京区もその様な計画を目指すのであれば、今回の様なアンケートは効果があると思われる。どの様な構成にしていきたいか区の家はあるのか。

**○下笠事務局** まちづくり白書は都市マスタープランを見直す為のデータ集であり、課題を抽出する為に作成する。また、都市マスタープランの見直しにあたって議論をしやすくする為に作成したいと考えている。

**○村木会長** データを揃え、まちの特性が分かる様に整理したまちづくり白書と都市マスタープランの構成で計画を作ることが分かった。

**○村山委員** 資料3の「2. 見直しの基本的な考え方」の②に、上位計画と関連計画との整合を図ると書かれているが、既存の計画に上手く合わせていくと読み取れる。例えば、東京都の都市計画道路に優先整備路線があるが、それを文京区内で受けとめた時に、コンフリクトとなる場合も考えられ、その場合、単純に上位計画に合わせるのではなく、最適な解を区として提案することも大事である。また、文京区には様々な分野別計画があるが、場合によってはそれらの内容を組み合わせて新しいプロジェクトを展開していく等、単純に合わせていくだけではなくて、これまでとは違った次元の提案をしていくことも考えられる。これらを我々はどの程度、幅をもって検討をすればよいかお聞きしたい。

**○下笠事務局** どの程度の幅でというご質問は今後検討したい。例えば、参考資料2の15ページに都市計画道路の整備状況の図を載せている。環状3号線の整備等に関する事項を都市マスタープランにどの様に記載をするかも今後検討したい。

**○村木会長** 具体的に何をどの程度記載した方がよいと意見をされた方がよいかもしれない。

**○村山委員** 具体的には議論の中で発言をしたい。

**○福富委員** 大学は区内で様々な動きがある。それらを調整する様な事項を都市マスタープランに記載ができないか。それと同時に、三井不動産が東京ドームシティを買収したという

話や駅前再開発の話も同じであるが、ディベロッパーのまちづくりの意向と行政のまちづくりの意向とのすり合わせをどこかで行う必要がある。個別の名称を出す必要はないが、その内容を盛り込んでほしい。

**○村木会長** 官民連携の在り方の調整を含めての話である。先ほどの西浦委員の意見等とも共通するが、現行マスタープランの部門別に対して、次の都市マスではどのような目次立てにするのか。縦の繋がりに関する項目と、全てに関連するテーマの様な横の繋がりに関する項目とで検討を進める必要がある。地球温暖化や脱炭素等は自治体によっては横の繋がりで見られているので、このような視点についても検討をした方がよい。

資料4以降の見直しにあたっての視点で何かあるか。今後議論するにあたって必要と考えられるデータについて等でもよい。

**○谷口副会長** 資料5-2の来訪者アンケートに関して、都民だけを対象にするのは範囲が狭すぎる。文京区は、東京大学等に全国、海外からも来訪者が訪れる様に、特殊な区である。この部分は文京区の特徴を出せる部分であり、来訪者の対象を広く考えてほしい。

**○一針委員** 企業の計画の場合、トップダウンで方向性をしっかり決めて、皆で同じ方向を向いていくことが一般的である。この様に、区民が普段気づいていないことを行政側から促した方がよい。例えば、温暖化対策で単に先進国がCO2を減らそうと促しても、地球全体では実際には減らない可能性が高い。既に温暖化が進む中でアダプテーション（適応策）は重要なテーマであり、中長期的には考えていく必要がある。また、近年、災害に対する強さよりも災害が起きた後に速やかに回復するレジリエンス（しなやかさ）も重要なテーマとして取り上げてはどうか。

**○下笠事務局** 地球温暖化について、本区では、令和4年2月の区長の施政方針において、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質0とするゼロカーボンシティを目指すということを表明している。参考までに報告する。

**○村木会長** 地球温暖化についてやれることは環境施策だけではない。都市計画として何をしていくべきかを検討していく必要があるだろう。

**○村山委員** 資料6と補足資料2を両方見ながら発言するが、都市計画法に基づくマスタープランである為、都市計画法に基づいてできることに落とし込んでいく必要がある。大きくは、土地利用と都市施設である。土地利用では地域地区、容積率、高さ規制等に対する方針を出す必要がある。その為に、ここに書いている様に、良好で質の高い住環境保全の為に土地利用の在り方を検討する必要がある。加えて、保全だけでなく、持続的成長のための開発誘導等を考えてもよい時代となってきたので、これについて記載がない項目に加えてい

ただきたい。つまり、開発と保全のバランスを考えていく必要があるということである。

都市施設に関しては、区民のアンケートを見ると、歩行・自転車環境の整備に力を入れてほしいということが明確に出ており、これは道路の話と思われる。併せて、西浦委員も強調されていたグリーンインフラや集中豪雨による水害対策の為に上手く道路を使って雨水マネジメントをするということも考えられる。この様に、都市施設に関しては、複数の部門を統合する様な形で考えてもよい。

**○村木会長** 都市マスが、都市計画法に関する内容を中心に記載している自治体と、所謂まちづくりに関する内容を幅広く記載し、総合計画とあまり変わらない内容となっている自治体の2種類あると思われる。どちらを目指していくのか議論する必要がある。

**○福富委員** エリアマネジメント等は都市計画法では描ききれない。その様な部分もある程度書き込まないとまちづくりを推進していくにあたっては力が弱い。

**○小能委員** 建築物の高さ制限に関してはしっかりと議論をしてほしい。今は、おしなべて高さ制限が決まっており、概ね14階程度しか建てられないが、これを地域によってしっかり分けていく必要がある。文京区であれば、西片や大和郷等、低い建物を建て環境を保全する場所と、白山通りや春日通りの様に大きな通り沿いでは積極的に高い建物を建て有効活用させた方がよい。前回の都市マスタープラン改定の際は、かなり駆け足で高さ制限が決まっていった気がする。これに関しては、今回はじっくりと検討してメリハリのある計画に変えていってほしい。

**○村木会長** 建物の高さに関する資料も作成した方がよいだろう。

**○福富委員** 外国人の動向をデータで抑えてほしい。コロナ禍で外国人の人口が減っているという話もあるが、「外国人からも選ばれる文京区」という内容を書くべきか書かざるべきかという議論も必要である。

**○村木会長** ポストコロナで外国人の人口がどの様になっているかということか。

**○福富委員** コロナの発生によって一時的には外国人の人口が減っているが、これからコロナが収束するとまた増えてくると考えられる。留学生も同じである。その様な外国人に選ばれる文京区を目指すべきか目指さざるべきかという検討をした方がよい。

**○村木会長** あまり、その様な方向にいくと都市計画から離れてしまう。その内容をどこまで書くのか、例えば、外国人も参加しやすいまちづくり等であるが、どの様な立ち位置で都市マスタープランを作るかに関係してくる。

**○鈴木委員** 区民意識調査で一番意見の多かった歩行・自転車利用に関する資料を用意してほしい。



外国人については、たまたま大学等が近くにあるから住んでいる方もいれば、子供等がいて永住をしている様な方もいる。外国人を一括りにしてよいのかが疑問である。

**○村木会長** データを確認し、できる部分は用意してほしい。外国人について、属性までは都市計画でできることとできないことがあるが、了解した。

**○加藤委員** ベースとなる点を2点話す。都市計画は何かを達成する為の手段である。今回の都市マスタープランの改定で、何をどんな手段で実現しようとしているのかをまずは議論していく必要がある。資料4の3ページにある文京区の総合戦略のうち基本施策1～5は都市空間に関わる施策である。ここに書かれている様な都市を実現する為に都市計画として何をすべきかを都市マスタープランに書き込むことになる。それ以外についても改めて議論しながら微修正していけばよい。

2点目であるが、都市計画、まちづくりは単純に市民の御用聞きではなく、よりよい内容を提示していく必要がある。その様な議論をしていくとよい。

**○村木会長** 根本的に何をめざすか、その為に何をすべきなのかということを考えるべきだというご指摘であろう。こういうまちにしたい、普段困っていること等があればお聞きしたい。

**○綾井委員** まちを分析する際には、まちを幾つかに分けないと分析ができないと思われる。いったん分けて考えたまちも実際には繋がっているもので、接するところなどの繋がり方についても検討できるとよい。一例をあげると、道と道の交差点には街角ができる。文京区に素敵な街角が増えることでよりよいまちになっていくのではないかと考えている。

**○村木会長** 地域別市街地像をどの様に作っていくのか、地域と地域が繋がっているところをどの様にしていくのかという話である。西浦委員の意見は行政界の周辺を指しており、より大きい話であるが、繋がっている様に思われる。

**○福本委員** 都市計画に関連する内容を中心に記載するか、まちづくりを幅広く捉え作るのか等、文京区として何をめざしているのかを示してもらわないと、どう発言してよいかわからない。例えば、地域別市街地像であれば、ある程度ワークショップやそれぞれのまちづくり活動と連動した方向性を示せると思う。

**○村木会長** どの様なスタンスでどこまでの範囲を見直していくのか事務局にお聞きしたい。

**○下笠事務局** 正直なところ、決まっていない。現在、見直しということで検討を進めているが、課題も多くあり、全面改定の様になるかもしれない。その部分も今後検討したい。資料も議論しやすい様に用意していきたい。

**○澤井委員** 基本的には20年計画で作った現行マスタープランの見直しである。この間、都

市計画に関わる様々な事象が起きている。それらと現行マスタープランで齟齬がある部分は、見直しという観点から見なければならぬ。都市マスタープランを都市計画に関連する内容を中心とするのか、まちづくり全般の記載をするかであるが、現行マスタープランでは文京区全体のまちづくりと地域別の方針に関する内容となっており、現行マスタープランの構成に関する振り返りが足りなかったと考えている。基本は現行マスタープランをベースに考えていきたい。現時点では、大きく構成を変えることは考えておらず、どのようなことを目指していくのか、次回はそれらが分かる様に区の考え方を整理していきたい。

**○村木会長** 区にどのようなことを考えてほしいか意見があれば、お聞きしたい。また、10年間で社会、都市が変わってきたことに対して、今後検討しなければならないことについて、本日の資料の中にもあるが、追加して検討すべき事項で何かあればお聞きしたい。

加藤委員に、今後、防災等の観点で検討すべき項目があればお聞きしたい。

#### **○加藤委員**

今年5月の下旬に東京都から地震被害想定が発表された。今回の被害想定は10年ぶりの見直しで、前回から地震の揺れの想定はあまり変わっていないが、新しく建て替わった建物や社会特性等が変化した結果、被害想定が3割～4割程度減少した。これで一安心というわけではなく、被害の絶対数は依然として多い為、行うべきことは多くあるが、地震の規模の想定に変化が無ければ、確実に被害は減っていくということが今回分かった。

一方で、地震被害想定では、定量化できる項目のみが扱われているため、例えば、頑丈なマンションでもライフラインが止まれば生活が大変であるが、その様な部分は定量化されていない。

以上を踏まえると、防災に関しては、昔は命を守ることが目的、ここ最近では被害を減らすことが目的であった。次の目標は、災害を難なく乗り越えられる様にまちをつくっていくことである。災害があっても機能が最低限維持される様なまちを目指す、或いは仮に被災してもすぐに立ち直れるなど様々な捉え方があり、検討が必要である。

災害時に自立している地域が全てとなれば防災の問題は解消する。文京区はこれを目指すことができると考えている。

災害時自立生活の議論は、エネルギーや環境の話とも関係してくる。今回の検討では、項目を縦に分割して検討している様に感じる。それも大切であるが、これからの時代は項目を横に繋いで総合的に検討していくことが大切である。私は、防災の専門家であるが、防災もまちづくりであり、他の項目と共に検討していく仕組みもあってよいのではないかと。

**○村木会長** これまでやってこなかったけど今後必要になる項目をどの様に都市マスタープ

ランに記載するか、自治体で実際に使われることを考えると縦での説明が必要であるが、如何にそれらを横に繋ぎ統合的に説明するのかということはこの2年間で明確にしていく必要がある。今後10年間で新たに追加した方がよい項目があればお聞きしたい。

**○杉田委員** どの様にして都市マスタープランに記載すればよいか分からないが、自転車、商店街、災害の項目で区民の期待度が高いが、補足資料2にその項目が分かる資料が抜けている。自転車は、電動自転車の普及で大変危険な武器ともなり得る為、浅草通りの様に自転車と歩行者を完全に分離する必要があると考えられる。

また、来街者からも期待度が高くなっている商店街の問題は都市マスタープランに記載することが難しいと思われるが、商店会の方が防犯等においてまちづくりの担い手となる場合は多い。商店街の中にマンションが建つと1階部分には自動車駐車場の付置義務等により、商店がなくなる場合が多い。既存の商店街でもその様なケースが多くなっている。今後は、車の利用度が少なくなっているにもかかわらず、自動車駐車場の付置義務が必要なのか疑問である。その部分が今後重要になると考えられる。

**○村木会長** 1階部分の土地利用の在り方や駐車場付置義務、交通移動手段についての話があった。アメリカでは電動キックボードの利用者が多くなっており怖いと感じた。日本でも今後10年でどうなっていくのかということを考える必要がある。今までになかった事象がどの様に出てきて、今後どの様になっていくかを考えることが都市計画である。

今の話の様に、何に備えればよいのか、お聞きしたい。

**○一針委員** 資料4について、Society5.0の記載が気になっている。AIの集積等が考えられるが、これを都市マスタープランにどの様に記載するのか。日本ではまだSociety5.0という言葉だけで具体的に何かをしているわけではないが、ドイツでは、言葉は異なるが、Industrie 4.0という形で政府と公共側が主体的に取り組んでいる。半導体メーカーのBOSCHでは、半導体の工場を作る前に、工場のデータをデジタルの空間にも作っている。都市空間も今後この様になる可能性がある中で、資料にも記載のあるスマートシティという考え方は以前からあり、文京区に参考となる様な事例を集めてほしい。

**○村木会長** 関連する様な資料を集めてほしい。また、多くの分野に関わる項目であり、今後の検討では、総合的に検討していく必要があるかもしれない。

**○谷口副会長** 補足資料2に検討が必要な項目とレベルアップが必要な項目とがあり、新しく検討が必要な項目には公共だけではできない項目がほとんどである。これらを都市マスタープランで上手くハンドリング（扱うことが）できるのか。例えば、シェアサイクルもはじめは各自治体でバラバラであり、時間が経たないと整備が進まなかった。この事例の様に如

何に各分野を統合的に捉えるかが重要である。

補足資料1について、転入して転出するまでの期間が短い居住者が増えている様に感じる。区内にその様な地域があり、また、その様な地域が増えているのではないか。

以上の様に、文京区にある既存のものと、新しく入ってくるものをどうフュージョン（融合）していくのが焦点になってくる。

**○村木会長** そうすると、通勤通学に関する人流データ等が必要になる。

**○谷口副会長** 人流データを取る必要はない。国勢調査の通勤通学の統計でよい。

**○村木会長** 上記の様な資料を用意してほしい。

**○福富委員** 都市マスタープランには都市計画の中では書きづらい商業や福祉、教育等、先ほどから話に出ている管理の分野の記載も必要ではないか。そうしなければ、目指すべき都市像にはならないと思われる。ある程度区別をした上で、上記の様な内容も記載してほしい。

**○村木会長** どの様な形の都市マスタープランを目指すのかは区でも検討してほしい。都市計画としてやらなければならないことの明確化、また、区民の生活に関する事項も全く書かないわけにはいかないと思っている。ただ、書きすぎてしまうと、都市マスタープランの役割が分かりにくくなるということを危惧している。

**○村山委員** 最近の潮流について、資料に官民連携やエリアマネジメントの記載がある。私もこれらは大切であると思っており、文京区でも地域で集まり、まちについて議論をする場が多くなってきているのではないか。この様な取組み自体を支援することは大切であるが、むしろ都市マスタープランでは、この様な取組みを通じて出てきている都市計画的な課題を解決するという側面支援も大切ではないか。再開発を検討している地域があったり、私の大学のキャンパスでも周辺の地域との関わりを検討したりし始めている。その様な取組みを都市計画の立場で支援する、都市計画的な課題を解決することが可能であるのか、その仕組みが気になった。

**○村木会長** 大学と企業、民間との連携という意味でも重要な意見である。

**○福本委員** 以前は、斜面地に住んでいたが、最近、白山台地に引っ越した。台地のエリアは戸建住宅が多く残っており、高齢の方が多く住んでいる地域である。その周辺に立地する近隣商業の店舗がその方々の生活を支えているという構図が見えてきた。

土地利用として、どの様な住宅が建っており、何を享受しているかを整理した上で、皆さんの生活をどの様にしていくかを議論した方が区民としては議論しやすい。都市計画でできること、できないことを一度、話し合えるとよい。

**○村木会長** 今の意見は、非常に大事であるが、この様な事象をデータとして見ようとする

と難しい。地域別の市街地で分析をすれば分かるかもしれない。例えば、典型的な市街地での土地利用の動向を整理し、今後どうしていきたいのかを議論できるとよいのかもしれない。この内容も事務局と相談の上で資料を作成し、皆さんと議論したい。

**○加藤委員** 2点ある。1つ目は、文京区は都心である為、まちが大きく変わっていく。えんま通り商店街は私が住んでいた昭和 63 年と比較して現在では、大きく変化している。都市計画で最も良くないことは成り行きでまちが変化していつてしまうことであり、先取りし、規制誘導をしっかりと行うことが重要である。その為には、現状と今後を示唆する様なデータが必要である。例えば、参考資料 2 の 8 ページの図 1-3 では、ここ 10 年間で立地が変化した工業施設用地が見て取れるが、この先の 10 年間もこのまま用途変換していくと仮説をした場合、次はどの様な地域で用途変換が起こり得るのかといったことが分かることが大切である。また、再開発が進んでいる箇所でも今後どの様に变化するのかがデータで分かれば、大きく変わる可能性がある部分は重点的に議論することができるだろう。今回話した工業施設用地の例は一例であり、それ以外にも今後整理できる項目があれば進めてほしい。

2点目は、まちづくりの現場で下町の方より、カタカナ文字はあまり使わない方がよいと指摘されたことがある。「グリーンインフラ」と言ったとき、しっかりと定義されている言葉ではない為、その場で議論している全員が共通の意味として認識できているか分からない。これまでの水と緑といった文言は違う近未来的なことを考えていると思われるが、全員が分かる言葉で議論する必要がある。

**○村木会長** 現況のデータから将来を予測することは難しいが、老朽建物や固定資産等のデータがもし使えるようであれば、それらを用いることも一つの方法である。再開発等のデータを整理することも考えた方がよい。

**○高橋委員** 資料 4 と補足資料 2 に記載がある SDG s に意見がある。SDG s に関して何か目標を掲げてまちづくりをしているわけではないと思われる。都市計画の中で達成できる SDG s の項目は限られてくる為、それらを明確にしないと、結果として SDG s に関係がある項目として位置づけるだけになる。都市計画の中で達成することが可能である項目に関しては特定の目標を示すべきである。

**○村木会長** 区では明確に目標を定めることは考えているのか。

**○下笠事務局** 現在のところ、具体的に基準を定める様なことは検討していない。今後検討したい。

**○村木会長** 該当する項目のアイコンを並べるだけでは意味がない為、どの様にすればよいか考えてほしい。

○**下笠事務局** 冒頭、村木会長からご発言いただいた使えるマスタープランにしていきたいと考えている。

○**一針委員** 資料4の2ページ目の下から4行目にグリーンインフラ推進戦略の策定とあるが、すでに文京区では策定をしているのか。担当の方がいなければ次回、この内容が分かる資料を示してほしい。

○**下笠事務局** こちらは国の戦略である。区では、グリーンインフラに関わる具体的な戦略等の策定はしていないという認識である。

○**一針委員** 次回はこの内容が分かる資料があった方が欠席している委員との議論がしやすいと思われる。

○**下笠事務局** 了解した。検討する。

○**村木会長** 次回に向けての資料等に意見はないか。

○**福富委員** 西浦委員よりあった隣接する区の都市マスタープランがどの様になっているのかが分かる資料があるとよい。

○**村木会長** 事務局で用意してほしい。策定している区とそうでない区もあるかもしれない。また、先ほどからある様に人の移動が多い地域である為、本来は、周辺の区も含めて記載があるとよいが、策定していてもその区のことしか書かれていないと思われる。

意見がこれ以上ない為、その他に移る。事務局からお願いしたい。

○**下笠事務局** 次回の開催は10月を予定している。早急に日程調整したい。以上である。

○**村木会長** 以上で、都市マスタープラン検討協議会を閉会する。